

樋沢自治会の・自助・共助

～自分たちの地域は、自分たちで守る～

令和元年9月1日（日）自主防災訓練及びふれあい交流事業が行われました。樋沢地区44世帯・70名の参加者が自治公民館に集合し、大沼まで車椅子の方も含めた避難誘導訓練を行いました。消防署職員による、消火器・AEDの取り扱い訓練や救護訓練の後、長さ2メートルの竹に、着ている洋服を通した応急担架作成などを体験し集まった住民は「防災の日」に相応しい真剣な趣で取り組んでいる様子が伺えました。また、給食給水班による炊き出し訓練なども実施されました。毎年この訓練を行うことで、災害時の自主防災役員、自主防災班の班長の役割が明確になり「自助」「共助」の報告ができる班編成と連絡網の組織ができている自治会でした。普段の生活を通して、気になる方達への声かけをしていたり、自治会未加入者の参加もあつたいと、つながりの見える関係ができている樋沢地区でした。



樋沢自治公民館に避難した地域住民がこれから大沼まで誘導訓練します。



給食給水班による炊き出しです。



炊き出し訓練で作ったカレーを美味しく食べてます。



竹で応急担架を作成している様子です。



那須塩原市社会福祉協議会



令和元年9月作成